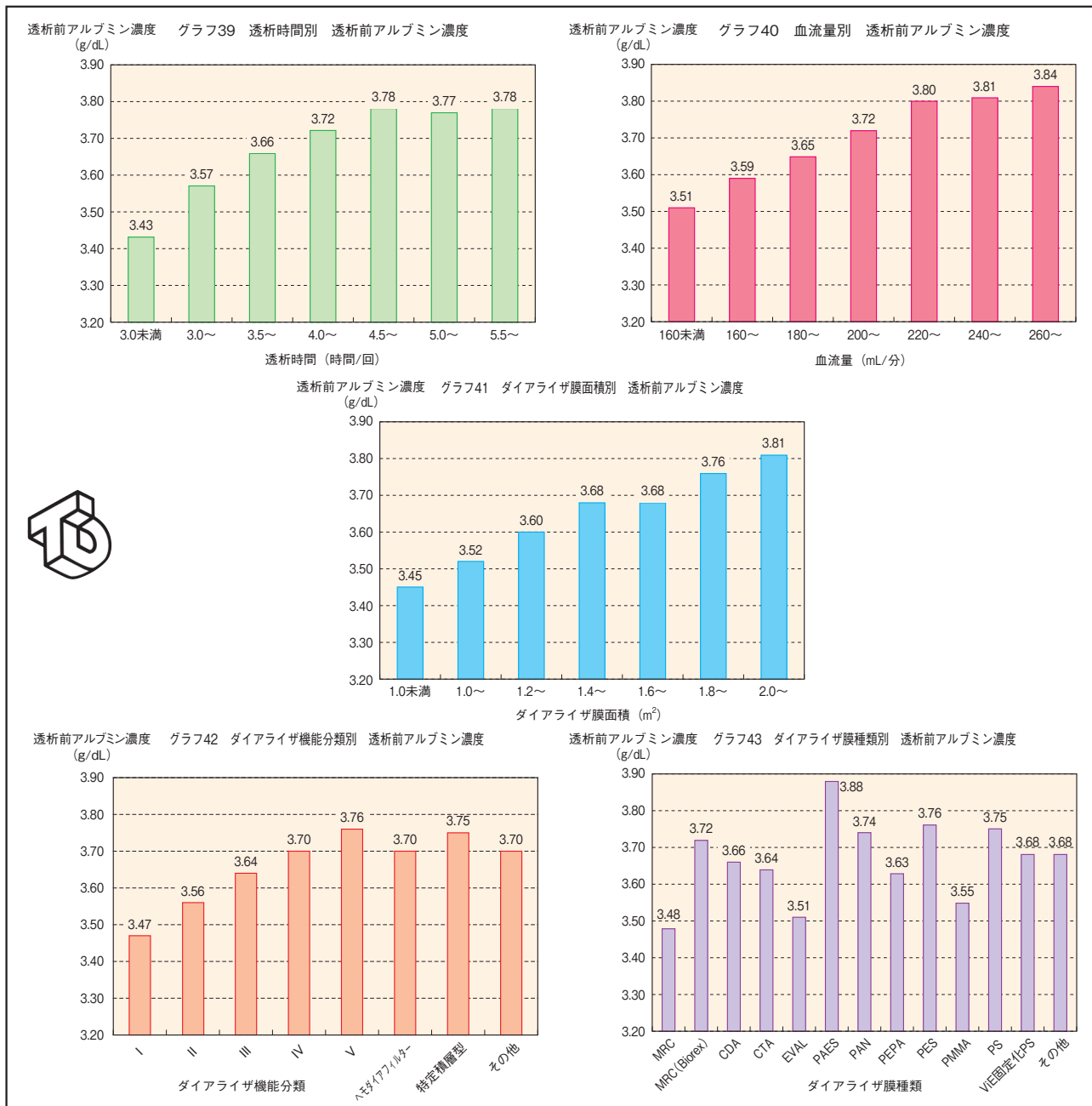


4) 血液透析条件と各種データ

(5) 透析条件と透析前アルブミン濃度 (図表41)



患者調査による集計
 グラフ39 集計対象：153,948人
 グラフ40 集計対象：152,970人
 グラフ41 集計対象：152,930人
 グラフ42 集計対象：152,897人
 グラフ43 集計対象：152,897人

解説

透析時間が長いほど、透析前アルブミン (Alb) 濃度が高い傾向がみられた。

血流量が多いほど、透析前Alb濃度が高い傾向がみられた。

ダイアライザ膜面積が大きいほど、透析前Alb濃度が高い傾向がみられた。

ダイアライザ機能分類別では、IV型・V型・ヘモダイアフィルター・特定積層型で、透析前Alb濃度が高い傾向がみられた。

ダイアライザ膜種類別では、透析前Alb濃度にばらつきがみられるが、患者背景によってダイアライザの選択に偏りがある可能性もあり、膜種類がAlb濃度に影響を与えているかどうかは判断できない。

透析前Alb濃度は栄養状態の他に、蛋白合成能、体水分の状態、併存病態などの影響を受けるので、透析条件がAlb濃度に影響を与えているのか、Alb濃度によって透析条件が選択されているのかは判断できない。